

指導事項配列表（１年）NO.1

指導事項配列表（１年①）				指導事項等	【知識及び技能】									
					(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項					(2) 情報の扱い方に関する事項		(3) 我が国の言語文化に関する事項		
					ア 音声の働きや仕組みについて、理解を深めること。	イ 小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表（以下「学年別漢字配当表」という。）に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。	エ 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めること。	ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	オ 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うこと。	ア 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。	イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。	ア 音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむこと。	イ 古典には様々な種類の作品があることを知ること。	ウ 共通語と方言の果たす役割について理解すること。
月		教材	時数											
4	言葉に出会うために	朝のリレー	1	◎										
		野原はうたう	1	◎										
		声を届ける/書き留める/ 言葉を調べる/続けてみよう	4	◎						◎				◎
5	1 学びをひらく	シンシュン	4				◎							
		〔聞く〕情報を的確に聞き取る	1								◎			
		季節のしおり 春	－											
		情報整理のレッスン 比較・分類	1								◎			
		情報を整理して書こう わかりやすく説明する	4								◎			
		漢字1 漢字の組み立てと部首	1				◎							
		漢字に親しもう1					◎							
6	2 新しい視点で	ダイコンは大きな根？	2								◎			
		ちょっと立ち止まって	3								◎			
		思考のレッスン1 意見と根拠	1								◎			
		話の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する	4	◎										
		漢字に親しもう2	1				◎							
		文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう →文法1 言葉の単位（P238-241）	2						◎					
	情報社会を生きる	情報を集めよう／情報を読み取ろう／ 情報を引用しよう	3								◎			
7	3 言葉に立ち止まる	詩の世界 〔書く〕詩を作ろう	3 [1]				◎			◎				
		比喩で広がる言葉の世界	2							◎				
		言葉1 指示する語句と接続する語句	2						◎					
		言葉を集めよう もっと「伝わる」表現を目ざして	1				◎							
	読書生活を豊かに	読書を楽しむ	1											◎
		本の中の中学生 あと少し、もう少し／西の魔女が死んだ／ ブラインドの向こうに見える光	1											◎
		読書案内 本の世界を広げよう												◎
		読書コラム 本との出会い												◎
		季節のしおり 夏	－											

- ・学習経験として蓄積させる。

※時数について……「読むこと」の教材内に「書くこと」の活動がある場合は、総時数のうち、「書くこと」の時数を〔 〕で示した。

[illegible]

指導事項配列表（１年）NO.2

指導事項配列表（１年②）				【知識及び技能】											
				(1)言葉の特徴や使い方に関する事項				(2)情報の扱い方に関する事項				(3)我が国の言語文化に関する事項			
指導事項等				ア 音声の働きや仕組みについて、理解を深めること。	イ 小学校学習指導要領第２章第１節国語の学年別漢字配当表（以下「学年別漢字配当表」という。）に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。	エ 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めること。	ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	オ 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うこと。	ア 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。	イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。	ア 音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむこと。	イ 古典には様々な種類の作品があることを知ること。	ウ 共通語と方言の果たす役割について理解すること。	オ 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることとに役立つことを理解すること。	
月		教材	時数												
9	4 心の動き	大人になれなかった弟たちに……	4												◎
		星の花が降るころに	5					◎							
		聞き上手になろう 質問で話を引き出す	1	◎											
		項目を立てて書こう 案内文を書く	2							◎					
		〔推敲〕読み手の立場に立つ	1				◎								
		言葉2 方言と共通語	2											◎	
		漢字2 漢字の音訓	1		◎										
10	5 筋道を立てて	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	4							◎					
		思考のレッスン2 原因と結果	1							◎					
		根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く	5								◎				
		漢字に親しもう3	1		◎										
		〔話し合い〕話し合いの展開を捉える	1							◎					
		話題や展開を捉えて話し合おう グループ・ディスカッションをする	4							◎					
		音読を楽しもう 大阿蘇	1				◎								
11	6 いにしへの心にふれる	季節のしおり 秋	－												
		音読を楽しもう いろは歌	1									◎			
		古典の世界											◎		
		蓬萊の玉の枝——「竹取物語」から	4									◎			
		今に生きる言葉	2												
		〔書く〕故事成語を使って体験文を書こう	[1]									◎			
12	7 価値を見いだす	「不便」の価値を見つめ直す 〔書く〕根拠を明確にして、意見をまとめよう	4 [1]							◎	◎				
		助言を自分の文章に生かそう 作品の書評を書く	2												◎
		漢字に親しもう4	1		◎										
		文法への扉2 言葉の関係を考えよう →文法2 文の組み立て（P242-246）	2					◎							
	読書に親しむ	考える人になろう 君たちはどう生きるか／たのしい制約	1												◎
		読書案内 本の世界を広げよう 季節のしおり 冬	－												◎

- ・学習経験として蓄積させる。

※時数について……「読むこと」の教材内に「書くこと」の活動がある場合は、総時数のうち、「書くこと」の時数を〔 〕で示した。

[illegible]

指導事項配列表（１年）NO.3

指導事項配列表（１年③）				指導事項等	【知識及び技能】												
					(1)言葉の特徴や使い方に関する事項				(2)情報の扱い方に関する事項				(3)我が国の言語文化に関する事項				
					ア 音声の働きや仕組みについて、理解を深めること。	イ 小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表（以下「学年別漢字配当表」という。）に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。	ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	エ 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めること。	オ 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うこと。	ア 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。	イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。	ウ 共通語と方言の果たす役割について理解すること。	ア 音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむこと。	イ 古典には様々な種類の作品があることを知ること。	ウ 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることとに役立つことを理解すること。		
月		教材	時数														
1	8 自分を 見つめる	少年の日の思い出 [書く] 別の人物の視点から文章を書き換えよう	6 [2]				◎										
		漢字に親しもう5	1			◎											
		文法への扉3 単語の性質を見つけよう →文法3 単語の分類（P247-250）	2					◎									
		随筆二編	2					◎									
構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く		4					◎										
言葉3 さまざまな表現技法		2							◎								
漢字3 漢字の成り立ち		1			◎												
漢字に親しもう6					◎												
3	一年間の学びを振り返ろう 要点をフリップにまとめ、発表する	5	◎									◎					
	さくらの はなびら	1										◎					
	振り返り	3										◎				◎	
巻末教材	文法・漢字	文法1 言葉の単位 文法2 文の組み立て 文法3 単語の分類							◎								
		[練習]小学校六年生で学習した漢字 小学校六年生で学習した漢字一覧				◎											

◎その教材が主たる学習場面であり、確実に身につけることが望まれる。

★対応する言語活動例。

・学習経験として蓄積させる。

※時数について……「読むこと」の教材内に「書くこと」の活動がある場合は、総時数のうち、「書くこと」の時数を〔 〕で示した。

〔思考力、判断力、表現力等〕													
A 話すこと・聞くこと				B 書くこと				C 読むこと					
(1) 指導事項				(1) 指導事項				(1) 指導事項				(2) 言語活動例	
(2) 言語活動例				(2) 言語活動例				(2) 言語活動例				(2) 言語活動例	
ア 目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。	イ 自分の考えや根拠が明確になるように話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えること。	ウ 相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。	エ 必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめること。	オ 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめること。	ア 紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする活動。	イ 互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う活動。	ウ 学校図書館などを利用し、多様な情報を得て、考えたことなどを報告したり資料にまとめたりする活動。	ア 文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握すること。	イ 文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握すること。	ウ 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈すること。	エ 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすること。	ア 説明や記録などの文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする活動。
						◎		★			◎	◎	★
										◎			★
						◎	◎		★				
		◎			★	◎		★					
												◎	★
		◎			★		◎		◎			◎	★

その他